ある。又北部戦線でも日本軍は兵を集中して壓迫を

取後の戦況發表 よりカ東東東司令部は世六日マニラ撤退によれば、

防衞の危急を市民に告げた『東南よりマニラに 遊撃 メリカ 東亜軍司令部は十六日マニラ 撤退に先

戦車戦が展開されて

我が軍の損害は甚大

見られるに至り、 原へられるが、その際に で直面したマニラの運 のは既に時間の問題と のは既に時間の問題と のは既に時間の問題と

|横面方)の野郷を突撃、さら||に黒田した、また修水可報に||石中和一時には、釜に観土部||は鮮刈敵国(秦新南方士三十

通り發表した

し必要な機關の職員はこれを残し市の安寧維持に當らせ、

司令官の命により政府の安全を期するため政府

らびに郷務官署を他

皇軍マニラに肉薄

【東京電話】畏き過では大陸の 局木中將ら十 將軍賜謁

同间间边 同间间第 | 「一般のでは、 「一を、 「一

勳章親授式

下大陸に洋上に部隊長としてわ東京派部』畏き過りでは支那事

てある。

沙汰あらせられた。天皇降下には

これに呼應して香上銀行前埠頭には海上からする〇〇獨立工兵隊の上陸あり

軍の堂々の大行進だ、一切を暴言りされたクイーンス廣場には、見よ、

强强 阴影精 に實施の起程 に實施の力精

モルホ性力强

童話の四季

第二巻・兒童生活篇

いのの

を使1回1十続・治科十巻 (東京神田) 小型・100 | 一大学・100 東以上 (東京神田) 小型・110

部隊と密接な協力のもとに香港路

矢野總領事 感激の握手

を撃沈破

◇矢澤茂登一氏(朝鮮蘇然高格)

よい國よい話

「好」子」 代表的日本お屋敷を寝下の裏物にふさはしく、心直を がれて破作されたものが收めてあります。

第一卷·日本古典篇

全·話童民國) 編二喬井白

満場を行進するこの皇軍 無表情な 英國兵の 顔に比べ

土肥原大將ら陸海十二將軍に

画に激烈なる戦闘が展 愛おであるが、ルツン島防しる日本軍性マニラ北方のリンガエ四に於ては日米兩軍の りかほこれに関し要参い際に によれば二日ラモン際に雇せて際にリンガエン滑方 撃を織けつこあり、アメ【廿五日發】リシントン楽電野貿上出際とでない。 部隊は上陸地點○○よ るといはれる うなまにれたがといる。 部隊は上陸地點○○よ るといはれる でマニラ緊急派をつたわぶ 部隊は上陸地點○○よ るといはれる こう概念によれたが、部隊は上陸地點○○よ るといはれる こうにない が、 計四 (衛の米比重は今や全線上海特電【廿六日發】マ 開されてゐるが、 廿四 (衛の米比重は今や全線上海特電【廿六日發】マ 開されてゐるが、 廿四 (衛の米比重は今や全線上海特電【廿六日發】マ

敵軍、全線に亘り浮足

港全島に進駐完了

変にこれを除伏させたが、 サ六日

触皇軍堂々の大行進

石のうち陸軍上月、本多両中将を石のうち陸軍上月、本多両中将を石のちの職工月、本多両中将を一様と同時より日中において東後の中では、一様に関しては本日によって、一様に対して、一様に対して、一様に対して、 【香港廿六日同盟】昨廿五日午後六時五十 **わが一部兵力が午前五時堂々の步武も高らかに市内各所に運駐、各要地を先取すれば續々と精鋭部隊がこれにつ伴ひわが軍代表が漆黑の閣を衝いてビクトリャビークへの輝ける第一歩を印したのに引きつづき憲兵隊を先頭にたる日章旗は衛南の孤島を歴し皇軍の威武を英米人の前に心にくいまで表現した。まづ廿六日午前一時英代表を【香港廿六日同盟】昨廿五日午後六時五十分英側の降伏申入れによつてわが軍は香港全島を完全に手中に收め閣翻** 内の整理治安の維持に着手、

意サ六日同盟 香苗は緻密した、紫の東部機略の即車が開け 同十一時完全にその進駐を終了した はサ分を懸らぬ実しさである。これが昨日まで前豊富郎に職はれた。 軍の堂々の一下に戦闘の 異がついてはゐるが、洋風松された 質は見前の領と。 され た クイ 英國の植民地から解放、東亞の門戸として香むき喧噪した驚い着程の解説ははことは失きれるココレ ってある姿を見える、海は空の紺雲を映して淡く思ってゐる、牙を

我の何ふべきところに二途はな 。諸子は耳 鼠によれば蘭 のごとく 殺郅する 比島內閣改組

古は長星通常の保御豊穣制を許さ一後、マニラ北方二百キロの秩序が中は長星通常の内閣豊穣制を許さ一後、マニラ北方二百キロの秩序が

丁六日 (現地時間) 日本軍が撤戦

重慶の抗戦根據

香港の陷落で覆滅

岩崎派遣軍報道部長談

【廿五日發】マニラ來電によ ブエノスアイレス特電 バショウ占領 【廿五日發】シンガポールは コルネオ、新 嘉坡連絡斷絶

年末年始の

本紙

一、年始は元旦以降引續き發行。従來休十一日附)まで發行致します て、年内朝刊は三十一日まで登行、夕刊年始左の通り發行致します非常時局に鑑み、本紙は年末 は日曜夕刊を休刊する 外三十日 (三 します、夕刊は五日附まで 休刊致致しました 二日附朝刊も特に發行

現代の秀句鑑賞と大野林火著

「気」の一般で表現る

作歌の問題

郷俳句の作り方富安風生著 曜で 海三級境 方 の 鑑賞 川口誓子著 曜で 海三級境

報 社

的に極ふべき、戦士たるの像

は常に断たれたのである。

9降伏の名のもとに彼は那を

グロサクソンの東亜機取の命

といっても過ぎではあるまい。

說社

重慶を誅求す

いて來てゐるで

わが精鋭の猛攻に

使就を鳴んでゐない野はない。 人の肌が流れてゐる以上、心中

影響として勝の使いた到英級情襲た。その後以國統一の政治時

う。然しながら、彼の権内に支那

島政府遂に逃亡

ケット統領悲痛な聲明

遂に廿六日マニラより移轉を開始するここもにば比島政府および米軍政各機歸は皇軍の猛撃に【ブエノスアイレス廿六日同盟】マニラ電によれ

政府はマッカーザー東張軍司令官の物告により政ケソン大統領は大要次の通り聲明した

女ろって里。 , するは軍司令部営局と協力、移轉先より引續きすことに決した、余は軍司令部営局と協力、移轉先より政府を他へ移政府はマッカーサー東班軍司令官の勸告により政府を他へ移

-アメリカ高等 郷務官も同時に次の

題) 栗山併印

アノイへ 歸任 栗山事務總長

邦人全部無事 チモール島の

目黑書店·新刊圖書 東京市映田區駿河巻三八〇九番

際政権および在軍歌英米大使館よ

上海廿六日同盟」重慶來是に上

歷代秀吟百首川田順著 鄭 6 制之對

振替東京三一五五五番 二一省 堂東京市神田區神保町一二一省 堂

代の

名歌高田浪古著風691080旗

敵の小刀細工

、操縦の敵機撃破

歴爆撃を敢行、 駆縮 堂々銀翼をつらねて

戦を演じてこ

短期內服療法

けふの兩院

刻々鐵環を壓縮

惡性感 中耳炎

戦時下に於ける少國民の讀物にすすむ!

川島 涉・伊東峻一郎共著 高 判・三三 資・本録 愛國戰陣訓物語

聯合作戦は不可能

潜水艦でゲリラ戦

席者

企業許可令の運用方針

決戦體制に

昭和維新の礎石置かる

野大豆等語下別で、 「外教、大喜、胃液、、「商」、関係を大直は贈る逆スパイ 「大喜、胃液、「、商」、関係を大直は贈る逆スパイ 「大喜、胃液、「、商」、関係を大直は贈る逆スパイ

人座談會

作家物語縣

けふ年内議事終了

企業許可實施

各人は時局に覺める一粒は血の一滴

下飯坂本府糧政課長刀說

委員會規定昨日公布臨時行政事務簡捷化

・耐寒食糧の話

金属単純語・スペッジ

解組時局早ッカカ 東鉄電大森 洪太 中頭の感謝

朝鮮の追加品目四十種



* *

祭(群/數) 柳田 俊三 乳(動物/配)ギルバート

悪靈の眼(wwwwwwwwwww) 内田 いい 再の地 カーカー

内のわかれ Cather 山田 克郎 一人錬成 (を)でフリッ

大佛









经人污敝前屋

展れ米英 *皇民衆の倫理性





して腹葉してうな部分を観金に張した人々が十六日の不能をどうと訪れた。どれもされら鋭して異常を表したが、2締城の職地に確立なっとの音楽のお選束の歌歌のの歌歌・歌歌を抱かして異常を表したが、2締城の職地に確立なっとの音楽のお選集の歌歌を表びとて

た、天の道に群いて郷民なる米

官府における戦空

利用一〇チーゼル目標

朝鮮産業協會から大口献金

ちたが思ふ心は唯一つ島軍萬々娘の歌跳なのだ

東四代町五〇一大復取に探げられない囲春公の中一組合では今

旗版に飲廃したものである「雪貨

一萬圓客託

府議播本さんが献金

香港陷落に赤誠

の爆發

寄本 託社

あらはしたものである『寫論=右一京城大學

まると誤りに成と記録人の意識を一大島町、南場・6・の百十名の世間を表はして一から大久味、大幅単出

代表して赤誠の集積五百四十四八

「千代新」の誠

府内明治町一ノ六〇部川統昭火撃 数型に四〇個川一江さんの

全中華で香

社朝鮮機械製作

国権ノ登譲及採押予停止支援で上へ回足尋採主部資終了ノ日迄

社

長特置「香油途に陥つ英取は 港陷落祝賀

武勳輝く波田重

迅烈の進撃ぶり

ボルネオ攻略の第一報

戦争に夢々の武戦を陥って今回第一千夫人でいは 敷敷の言葉を左の城

英國にさらに一大痛鬱を與へたわ

まり附近は海が渡く門底は随地まのよ論第一般が00へ到達した

び極段、病院などの設備も行用

く動車上陸は敗戦を極めた、敵

五千名の戦物による《京城學 に迎るものがあり、關係者をいた 動が思ったのかつい先も影響な変が人類の解光度を開闢、対してなどというに対したなくの三野の風水のでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、



るっといる関係なる態度を明かにした

征戦に僕達の翼

節約の鉛筆や雑記帳が實を結ぶ

る來 白四廿月一

京城學童機の献納式

勢態戰決專高

學大の度年明

体みも短縮·九月に 質社會

半島⇒戰時犯罪嚴罰

會で「駐時心質総制の特殊に属す

感激の上月中將談 意を表する次節です 一般の単正1、両型于1、翌田直治一合尊に関し関力を求めて戦害したのが、年齢ホテルに早齢の摩撃最高機能。 はつて用した範疇の発酵者のの報告してのは、中部ナーは、昭田直治一合尊に関し関力を求めて戦害しての統一を持た。 一般の単独の発表をしてのない。 サストは、午前十二時、樹脂内特を挽腕。 関に元代刊設にからの記憶を申上げると共に規一管に次で、 サストは、午前十二時、樹脂内特を挽腕。 関に元代刊設にからの記憶を申上げると共に規一管に次で、 サストは、午前十二時、樹脂内特を挽腕。 関に元代刊設に お陰

で明二軍光の輝く慰賞に浴した上

體育も即應

征戦に半島

部下將兵の

大詔に健闘せよ

南總督が激励の告辭

大城日 古業卒の

油肝粒小縮濃中小

では、 では、 では、 では、 ですると、 ですると、 でする。 できる。 で。 できる。 で。

ミンADが效果的です。一寸した腺病騰質の改善には、最もヴィタ

風邪ひき易

KT-40

百粒・一円八〇 ら養つて下さい よつて、常にヴィ

親善に挺身

發 南鲜鄉代理店 南鲜 代理店

東京 株式會社 高川新井泰房 一 大郎 町 田 回 春 堂 一 大郎 町 田 回 春 堂 一 大郎 町 田 回 春 堂

告!

不誠意な京電の措置

バス問題に道警察部長の談

本にカマボコ





意願ひます) り歩く 者があるやうですが 丸三印に御注り歩く 者があるやうですが 丸三印に御店のカマボコだと 稱して賣 待ちしてゐます
月向きの カマボコ が 皆様をお
月向きの カマボコ が 皆様をお
毎度有難う御座います仁川方面

8

に帶携 利便·輕手 的濟經 料髮整

振贺京咏七六六番 **明丰** 研究會

構成ある紹介書。 機能がラザールの人物・思想・事績を述べ難し**た** 機能がラザールの人物・思想・事績を述べ難し**た** 定信一・六〇 送料 〇・11

選 算 記 題 院

句子のサラザール

國民も起っ
京城県中

順い

(新刊)

定領ニ・七〇、送料〇・一四

赤誠の金さん

0

設置等可決 城東警防團(

きのふ府會で

陸海

軍

5

國稅滯納者

田豐さんが献金

母嫁揃つて 仲好く献金

土建協會から海軍武官府へ

西大門署へ

香港陷落に 大口 献金 續々

世界の未開拓地

年か瀬著

精製の企業統合

110 **₹.1**0

大阪五門八首文祥

太郎(作)

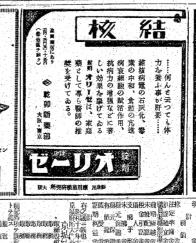


射淡洋

射。常常

結核の科學療法







保知現據金銀線運輸消工營工機壓士 合 整紀行軍際道 堪業場 到 離立 野電器財材 順代器 朝鮮第一綱材製造 類類類格竹明治座 高級全上表案での内領性等力 関係関係等で加回案

示言等次 今週三ノーデー版製成

8

東京と修理 ・ 神童タイプライク

東光用達

度 医横下 (本於) 大科一般 太爽永安 (本) 大科一般 太爽永安

健康增進 全國有名葉房販売

安田産婦人科。 留安 工事學醫 京旗 胆町 二(三越東側上山) 魯川204655衛

が成立の の出版を出ている。 が成立の の出版を出ている。 のの出版をは、 ののは、 の。 ののは、 の。

リリーと八海春春茶男店代工稲枝瀬

建 期日度

原 原 1 点 1 点 1 東宝中央制場 =1-LB--=1-八日 日本ニュース 女化映画 蛇姬樣大會

1・日本ニュース 日曜祭世代新年1・10 映 1・日本ニュース 2・朝鮮ニュース 3・東映橋6時中・緑野子 女 学 記(七紫)

当城

コナA日より三十一日まで 特別三年立名思想制 数 窓 の 應 召 兵 水 戸 の 小 天 狗 出 世 餅 藤 堂 高 虎 こ十六日より三十一日まで 特別三本立と出題前 鐵窓の應召兵 水戸の小天狗 出世餅藤堂高虎 院衆

皇軍威謝決議案を上程

大日の定僚閣議はて前十時間豊善を謝を設け同州分配曹 の難はとゝもに二十六日に武委令 としてのには対は国際は、またには、日本の主ののとのとは、日本のとのというとに決定、回録となり、日本のとのというとに決定、回録

公布について

植場鐵三氏を起用

慢遅なる刺語を賜ふ 人東で戦争下、初の通常議**會**

御慰労の賜餐

言論、出版、集會等の

収締りを適正化

朝鮮臨時保安令壽

天皇陛下通常議會開院式より還幸!

私は捕虜になるために來た

ヤング香港總督群権の

けふ嚴かに開院式擧行

衆議院奉答文『

大本営陸軍部發表(二十六日午後一時) に 大學ラングーンに對する第三次猛襲を敢行して 大學ラングーンに對する第三次猛襲を敢行して 大學ラングーンに對する第三次猛襲を敢行して 大學ラングーンに對する第三次猛襲を敢行して と激烈なる戦闘を交へ左の如く大戰果を取り これに複滅的打撃を奥へたり

陸鷲、第三次蘭貢猛襲

/を撃墜、破

日年の恨み登哉部は我が陸海皇軍(て、天皇降下高級三帖、汪主時代職事によって郵取された中國)を患げた、枕膝部中の餐頭に



下四十五名 矢野領事以

は富然設置領 担に第十條に 関のに不物朝 と認むる場合 と認むる場合 と認むる場合

『グンゼの絹靴下』で御馴染の郡是 製品の賣店を設置いたしました。 補し迫つて開店を急ぎましたので 商品も不充分、設備その他にも不何 属きな點が多々あらうとでじますが 何季啓別の御引立てを賜り度く伏し

同上 開生 開上

登(安) 忠南田 分育帰城 と) 東上中二

本京 町城

の言の井

郡是アンコール京城竇店

高人地名 學

主統 曾姓々 後三時人就不被維工業會社

熱。破擊英米

時の録音

果洋搾取はとゝに終焉した。 後載の下、必ず勝利は我に

大子洋の勝敗は明かな西谷

はなるとなる報道戦士神世

特別的發表來與

日半諸国引温地

いに高戦した回

圖

(we have a substitute of the substitute of the

勝利の鐵則を語る

東洋のものは、東洋に は常に勝つの

が優上勝利

ース(朝 の快選(第一本五十 の快選(第一本五十 の快選(第一本五十

小説地球の屋根では

疾患に ::

エルル



征け日本の前衞

所属のこの陸大なる電力よ。

慰曲え稼むを減ー清果

◎御自由にお笑ひ下さい(繋ば離〕四人気との飛行機はどこまで速くなるか(鰯)細の飛行機はどこまで速くなるか(鰯)細いをしま)が上し対外氏・使いるが加り

器師はない電車を有女助 で歌題は呼ぶる車法畑 第二 で歌題は呼ぶる車法畑 第二 で歌音の戦 友々田歌を で歌音がある。第二

中では、大学の一般であった。

定價五十錢(書店にあり)

歌

惠京小石川 大日本雄辯會講談社

従来の

困った 同一般 と 東京政治上原町 ます ると

TYY NEW PROPERTY ライオン製築株式會社

